

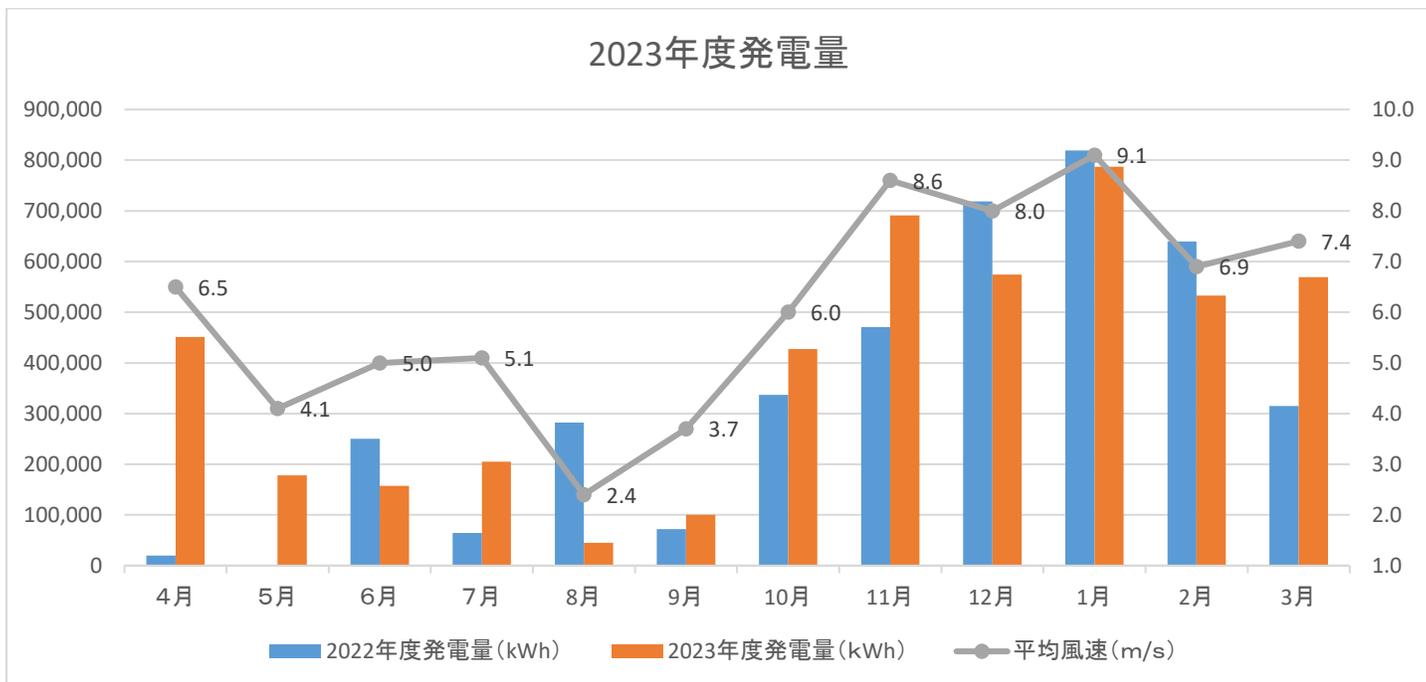
秋田県にかほ市に生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉が建設した生活クラブ風車「夢風」に関するニュースをお届けします。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 3-4-14FORECAST 人形町 PLACE8 階

一般社団法人グリーンファンド秋田

発行責任者 半澤彰浩（代表理事） 編集責任者 鈴木伸予

## ○ 2023 年度発電実績



## 2023年度運転状況について

### 1) 発電実績

年間総発電量は、4,717,347kWh(計画比99.9%、前年比118.3%)

平均風速は、6.1m/s(前年比101.7%)

稼働率は、89.6%(前年比115.0%)

設備利用率は、27.1%(前年比117.8%)

2) 榊市民風力発電と連携し、定期点検や月次点検、丁寧な保守管理を実施しました。

3) 増速機高速軸アッセンブリー交換を実施しました。

昨年交換した新しい増速機の高速軸の軸受けに不具合があり、6月12日～26日に、メーカーの費用で部品交換を実施しました。

4) 優先給電ルールに基づく出力抑制が6回48時間実施されました。

5) 東北電力ネットワークからの要請による解列が9回実施されました。

	発電量(kWh)	平均風速(m/s)	稼働率(%)
4月	451,057	6.5	31.5
5月	177,890	4.1	97.6
6月	157,447	5.0	56.0
7月	204,982	5.1	83.1
8月	44,664	2.4	77.8
9月	99,992	3.7	76.1
10月	427,369	6.0	97.5
11月	691,279	8.6	98.8
12月	573,971	8.0	97.8
1月	786,816	9.1	99.0
2月	532,949	6.9	99.7
3月	568,931	7.1	96.6

## グリーンファンド秋田第16期定時社員総会報告

2024年5/25(土)第16期定時社員総会を開催しました。

生活クラブ東京:西山恵美 23 区南理事、生活クラブ神奈川:佐野めぐみ副理事長、生活クラブ埼玉:相沢順子理事、生活クラブ千葉:並木道代副理事長、NPO 法人北海道グリーンファンド:鈴木亨理事長、株式会社市民風力発電:滝本しのぶ取締役が社員代表として出席いただきました。

第1号議案、2023年度(第16期)事業活動報告及び決算書類の承認。

にかほ市と生活クラブとの連携推進協議会、首都圏リージョナル自然エネルギー推進PJ、夢風ブランド開發生産者連絡会の事務局を務めました。事務局リーダー研修は22名参加、組合員リーダー研修は34名の参加、デポー担当者研修は14名の参加で実施しました。2/19～25にデポーにかほフェアを開催し、2/22～24に首都圏4単協の13デポーで生産者アピールを実施しました。

ドイツデンマーク視察研修を共催し、9/1～10に20名の参加で実施し、再エネや省エネ、熱利用、脱原発について学びました。

売電売上は計画比96.8%、前年比118.0%でした。2022年に実施した増速機交換工事の代金を修繕費に計上しました。この工事費用については、突発的な事故によるもので保険が適応され、給付を受けました。

第2号議案、2024年度(第17期)事業活動計画及び予算案の承認

基本方針(一部抜粋)

「生活クラブ風車「夢風」は稼働13年目を迎えます。また今年、にかほ市院内地域にもう一基、にかほの風を受けて未来にむけて私たちの風車が建設・稼働します。この2基の風車は単なる風車ではありません。2基の風車を取り囲むようにたくさんの人たちが関わっています。にかほ市の人たち、子どもたち、生活クラブの人たち、メンテナンスをしてくれる人たち、そして市役所の方たち、農産物や加工品を作っている生産者の方たち、応援してくれてる学識経験者の方たち、おおぜいの関係当事者が居て風車は回っています。これも自治です。地域と地域、人と人が連携した自治です。そのことをモデルとして発展させていきたい、そのために遅れた「夢風」10周年記念イベントと院内風力発電の竣工式を同時開催し次の10年を展望していける年にしたいと思えます。」

2024年度発電量473万kWhを目標とします。にかほ市と生活クラブとの連携推進協議会、首都圏リージョナル自然エネルギー推進PJ、夢風ブランド開發生産者連絡会の事務局を務めます。

にかほ院内風力発電の竣工に合わせて、生活クラブ風車「夢風」の10周年事業を行います。2025年度に記念誌の発行、にかほ市での祝う会、首都圏でのフォーラムの開催を予定し、今年度は準備を進めます。また、10周年記念事業と重ねて、にかほ市との次の10年につながる事業の具体化を進めます。

社員総会終了後、NPO法人北海道グリーンファンド理事長/株市民風力発電代表取締役の鈴木亨さんを講師に再エネとまちづくりというテーマで学習会を開催しました。



## 生活クラブ生協事務局リーダー研修開催報告

2024年5/17(金)18(土)、首都圏4単協主催の事務局リーダー研修を静岡、愛知単協から3名の参加を受けて21名で実施しました。

5/17は、低気圧の影響で強風の為、秋田空港に着陸が出来ず、飛行機が羽田に引き返してしまうというトラブルがありました。急遽、東京駅から新潟周りで電車で向かい、にかほ市到着が21時となってしまいました。その為、研修プログラムを変更し、山形県遊佐町で予定していた研修を中止し、にかほ市のみの研修実施となりました。

5/18は、前日とは打って変わった晴天となりました。

まず、生活クラブ風車「夢風」の見学を実施しました。(株)市民風力発電の渡邊さん、鈴木さんにご対応を頂きました。風力発電の仕組みや、風車内、変電設備の見学の後、ジャンケンで勝ち残った東京・多摩統合センターの三浦直之さん(でんきリーダー)がナセルに登頂しました。参加者からは「のどかな風景の1つとして風車が溶け込んでいること、大量生産・大量消費ではない、地域に根ざした小規模な電源開発を実感できました。」との感想がありました。



酒田駅に到着した研修メンバー一行  
(20:08)



生活クラブ風車・夢風での集合写真



芹田自治会館前での研修メンバー

続いて、夢風の土地をお借りしている芹田自治会を訪問しました。自治会長の渡邊京一さん、元自治会長の荒川定敏さんよりご挨拶を頂き、半澤彰浩神奈川専務(グリーンファンド秋田代表理事)を講師に学習会を開催しました。参加者からは「風車建設にあたり事前に環境影響評価を実施したうえ、複数回の住民説明会を開催したことで合意形成を図り、自治会の総会では全員賛成のうえ建設が開始されたこと、稼働後も毎年交流の場をつくっていること、夢風ブランド品の共同購入、生産者連絡会の設立、まちづくり基金条例の制定など、でんきも生産者の顔が見える消費材の1つであることを再認識するとともに、生産者である地域との関係性、地域に資する電源開発であることがよくわかりました。」「“地域に資することで「でんき」を見える化する“といった言葉が、もの凄く刺さりました。」との感想がありました。

続いて、伊藤製麺所の工場見学を実施しました。伊藤製麺所の伊藤実代表に製造工程のご説明をいただき、意見交換を行いました。参加者からは「伊藤さんがおっしゃっていた「顔の見える関係」という部分が、「食べものと一緒に！」「でんきも消費材」的な生活クラブらしさを改めて感じました」との感想がありました。

最後に、にかほ院内風力発電所の建設予定地を視察しました。土木工事が始まっており、建設場所からは、「夢風」や由利本荘の港の風車がたくさん見えました。



右から2番目奥、伊藤実代表



生活クラブにかほ院内風力発電所建設予定地に建つ研修メンバー一行

## タラーメンが再開発デビューしました

昨年10月より、生活クラブ東京の組合員と、伊藤製麺所、日南工業で、夢風ブランド品のタラーメンのスープの再開発を行ってきました。

今回の再開発では、酵素分解のたんぱく加水分解物を一切使わずに、「鱈しょつる」の味わいを存分に感じられるスープに変更しました。麺に使用した小麦の風味を引き立て、素材の魅力を最大限に生かしたスープとなりました。

組合員の声に応じて安全性とおいしさをアップした自慢の味です。

班個配は5月5回企画から、デポーは4月供給からデビューしました。新しくなったタラーメンを是非、ご賞味ください。

申し込みチラシ